



みんなで地域の未来を創る！SDGs アクション

オールパートナーシップで育む京都のごみ削減

2022年

日時

1月23日(日)



13:00~15:00

開催方法

ハイブリッド開催

- 会場：京都里山SDGsラボ 及び
オンライン〔Zoomウェビナー〕
※オンラインお申込みの方には、ID、パスワードをお送りします。
- 会場定員：30名
- 参加費：無料
- 申込方法：QRコードまたは <https://bit.ly/3xmEJ8T> より
お申込みください。
- 申込締切：2022年1月22日(土) 13:00
- 講師

京都はもともと行政や NPO などの活動団体だけでなく、市民や事業者、大学などを繋いで新たな取り組みを起し、パートナーシップでのごみ削減の取り組みを行ってきました。

このセミナーは、「京都の特性を活かしたごみ減量」を切り口とした SDGs に取り組む人と場を育むことを目的として開催します。



浅利 美鈴 さん

京都大学 地球環境学堂 准教授
学生時代に「京大ゴミ部」を立ち上げ、環境啓発・教育活動に取り組み始め、2005年からは、京都議定書達成に向けた「びっくり！エコ100選」、「びっくりエコ発電所」、京都におけるSDGs実装を目指す「エコ〜るど京大」や「京都超SDGsコンソーシアム」「京都里山SDGsラボ(ことす)」などを展開。「3R・低炭素社会検定」の事務局長も務める。

● 関係案内人



太田 航平 さん

NPO法人地域環境デザイン研究所 ecotone 代表理事、一般社団法人祇園祭ごみゼロ大作戦 理事長
「環境×メディア×アート」をコンセプトに、持続可能な地域づくりの"仕掛け"や"仕組みづくり"を行う「地域環境デザイン研究所 ecotone」代表理事。主な活動のひとつである2R(リデュース・リユース)をキーワードとした「リユース食器を活用した環境対策」は全国に広がり、日本三大祭である京都の祇園祭や大阪の天神祭でも導入され、ごみの具体的な削減につなげている。



安藤 悠太 さん

京都大学 工学研究科 博士後期課程、エコ〜るど京大メンバー
全員参加型でサステナブルキャンパス実現を目指す「エコ〜るど京大」に所属。エコ〜るど京大では、京都大学の学生・教職員を中心にさまざまな方と、環境問題や持続可能性・SDGsについて、そもそもから考え、対話し、実践すべく活動している。

● 会場『京都里山 SDGs ラボ』をご紹介します！



元京北第一小学校が、2050年のカーボンニュートラル社会を見据えた創造や変革をおこす場所として、新しい働き方や暮らし方ができる場所として生まれ変わった。多くの人々が交流し、地域を盛り上げていく拠点となることを目指している。

● プログラム

全体進行：認定NPO法人環境市民 副代表理事
下村 委津子さん

1. 講師 浅利 美鈴さんの講演
「オール京都・産学公民で、SDGsを超えたい！
～京都の里山と市街地をつなぐ循環の輪～」
2. インタビューダイアログ
関係案内人 太田 航平さん、安藤 悠太さんとの対話
3. 質疑応答
会場やウェブ参加者との質疑応答
4. まとめ



全国9か所にて開催！

詳細・お申込みはこちら

<https://www.esd-j.org/news/7515>

■お問い合わせ：
特定非営利活動法人持続可能な開発
のための教育推進会議(ESD-J)
TEL：03-5834-2061(月・木10:00~18:00)
E-mail：jimukyoku@esd-j.org